

彈壓に依つて我々の生活は低下に低下を重ねる際斯くの如きは絶対に黙過出来ない。公傷の即時決裁は當然の急務として當局に要求す可きである。

實行方法 新本部一任

25) 簡閱點呼召集に際し一割増し

實行方法 新本部一任

提案 電車部

青南支部

26) 事故に依る處罰絶對反対の件

提案 電車部

三の輪支部

理由

最近電氣局は事故の取扱いに對し著しく苛酷となつた事は否定し得ざる事實である。嚴罰が苦々薄給者の收入に直接影響し生活の脅威となる事は忍び得ざる處である近來の事故頻發は本年初頭強行されたるスピードアップと共に供ふ勞働加重に原因するものなれば不當處罰と斷定し絶對反対すると同時に當局理事者の反省を促すべきである。

實行方法 新本部一任

27) 家族乗車料金割引券に關する件

提案 電車部

三の輪支部

理由

國鐵並各私鐵會社に於ては家族に對し無料乗車券又は割引券を發行して居る。獨り電氣局のみが家族乗車に對し何等便法なく特に家族が市電病院巡院に對し一般乗客と同様の乗車料金を徴收するは遺憾に堪えざる處である。依つて本案を提出したのである。

一、家族に對し一ヶ月一回とする事

一、一冊六十回券とし金額は壹圓八十銭とする事

一、但し通用期間は無期限とする事

實行方法 新本部一任

28) 忌引改正の件

提案 電車部

錦糸堀支部

理由

人生悲哀の極致は親族の死に直面したる時である。此の悲しみの中につづて繁忙を極むる現業に從事する事は乗客に對しサービス缺陥となる一方事故誘引の原因となり延いては電氣局收入に影響を及ぼすに依り從來の忌引を左に改正すべきである。

要と認むるものなり。應援車掌獲得競争は新本部一任

29) 公傷補給額を全治迄支給の全額

提案 電車部

三田支部

理由

現在電氣局は公傷者に對し一定の期間を経過するに從ひ漸次補給額を低下するは不當甚だしきに依り全治迄全額を支給すべきが合理當然と確信する者である。

實行方法 新本部一任

30) 支給に關する件

提案 電車部

錦糸堀支部

理由

年末年始は最大運轉にも拘らず非常に缺勤者多く普通運轉臺數すら困難にて運轉上支障を來すを以つて從來の手當復活を要求する者なり。

實行方法 新本部一任

31) 中間ボギー車應援車掌獲得の件

提案 電車部

三田支部

理由
本年七月龜戸天神橋一九段下間に配屬せられたる中間ボギー車は其の收容量に於て從來のボギー車と何等變りなく勞働加重は勿論圓滿なる乗客輸送を期し難きに依り應援車掌を必

32) 終車手當復活の件

提案 電車部

理由
本年七月龜戸天神橋一九段下間に配屬せられたる中間ボギー車は其の收容量に於て從來のボギー車と何等變りなく勞働加重は勿論圓滿なる乗客輸送を期し難きに依り應援車掌を必